



NO.401

R2年12月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

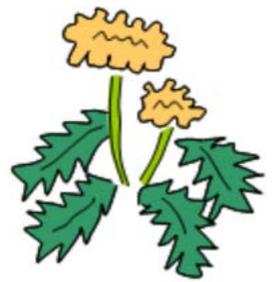
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



改めて感謝を…

施設長 木下昭二

昨年の11月に中国の武漢を発生源（最近の報道によると、当の中国はその事を否定しているようですが…）とする新型コロナウイルスの第1報から一年が経過し、今年は本当にその「コロナウィルスに翻弄された1年」という印象のみで終わろうとしています。生活スタイルだけでなく、働き方すらも変更を余儀なくされ、人と人との関わり方が変わり、家族でさえもソーシャルディスタンスを保たなければならず、一年中マスクをはめて生活しなければならぬようになる事を、一年前の今頃誰が想像出来たでしょうか？

それに対して、私達の福祉の仕事は、利用者さん達の支援をする事を生業とする仕事である為、なかなか「ソーシャルディスタンスを保って…」や「利用者さんと距離を置いて…」といったスタイルでは、上手く利用者さんの良い所を引き出してあげる事が難しいですし、その距離感を利用者さんに説明する事の難しさにも繋がっていきます。ましてや、場面によっては足元のおぼつかない利用者さんの支援などは、距離を取る事によって万が一の事態に対応が遅れ、転倒に繋がるリスクが格段に高くなる…といった事になりかねません。

出をしない事などを、理事長や私からも常々言い続け、発信しました。（この点はごこの施設・事業所さんにおかれても同様の状況だと思えます。）
その思いをしっかりと汲み取って頂き、全スタッフが同じ思いを持って自粛した生活を送ってくれている事で、今のところは新型コロナウイルスの施設内への侵入を防ぐ事が出来ています。これまで長きに亘り、また今後もまだまだ続くコロナウィルスの対策を引き続き取っていく中で、各スタッフの緊張感やそれを継続していく事の負担は半端なものでないと推察します。実際に、コロナウィルス感染症対策・共有部分の消毒などを行いながら、日々の利用者さんの支援に当たってくれている支援員スタッフが始め、事務スタッフの皆さん・看護師さん・栄養

士さん・グループホームの世話人さん・調理員さん・運転手さん・施設内の整備や清掃を下さっている皆さん他、施設に関わって頂いている皆さん、本当にいつもありがとうございます。改めて感謝申し上げます。
今後はインフルエンザの流行期にもなります。（一説には手洗い・手指消毒等の効果と、世界規模で人の往来の流れがストップしている事で、インフルエンザウィルスの移動も見られず、例年ほどの流行にはならないのではないかと）とも言われています。（今後も感染対策とスタッフの皆さんへの注意喚起を油断なく行いながら、利用者さんの安心・安全な生活の提供が担保されるように努めていきたいと思えます。）
この「機関誌たんぽぽ」も次の50号に向けて、新たな世代へと繋いでいけるように、一文字一文字を紡いでいきたいと思えます。これからの三気の里も、どうぞ宜しくお願い致します。



12月



1班「頑張った結果」

現在、二社から内職の作業を受注し、そのうちの一社からは、ゴムパッキンをプラスチック製品にはめ込む作業を頂いています。また、パッキンをはめ込む作業以外にも、プラスチック製品を手でもぐ作業、製品同士を組み合わせる作業等々、その日その日で受注する作業が異なります。利用者の皆さんも、その日の作業を一生懸命に頑張っており取り組まれています。時には2種類、3種類と複数の作業を同時に頂く時もあります。先日、1ヶ月分の作業収入のお知らせを頂いたのですが、その時私は驚きました。そこには、今まで見たことがない額の作業収入が記載されていました。それは1ヶ月の作業収入額では過去最高額で、前年同月と比較しても驚きの額でした。頂く作業内容や作業量の違いがありますが、それでも去年の1ヶ月の最高額をも上回る収入でした。毎日の利用者の皆さんの頑張りが、こういった形で結果として表れると、私達スタッフも身が引き締まります。体調管理に気を付けて、より一層、業務に励みたいと思います。

リーダー 小城 崇

2班「忙しい一日に感謝」

最近、忙しさのせいか（歳のせい?）、一日があっという間に過ぎるように感じます。2班の作業は主に、フルーツを包むネットを梱包する仕事、赤ちゃん用のハンカチ、ミトンをビニールに入れ販売できるようにし、業者に渡す作業です。ありがたい事に、コロナ禍においても、作業が途切れることがなく、毎日忙しい状況です。利用者の方とすれ違ふと「ハンカチが来ています。」「ネットが終わりました。」と報告があります。作業中もネットを折る、まとめる、ハンカチを袋に入れると、フル稼働です。年々、手際が良くなり、作業スピードが上がってきているので、チェックするスタッフが追いつきません。なんとか納期に間に合わせ、ホッとすると、次の作業の計画を立てなければいけません。しかし、一息ついて考えてみると、その忙しさの裏には沢山の要因があります。まずはこのような状況でも仕事が頂けるという事。仕事を通して、利用者の方々、スタッフが成長できている事。皆さんが健康で仕事に向き合える事、挙げればたくさんあります。こう考えると感謝する気持ちが湧きあがってきます。これからは社会の一員として、真摯に仕事に取り組み社会に貢献していきたいと思ひます。

リーダー 久米 善久

3班「その野菜。実は、、、。」

大津町の某スーパーマーケット。その青果コーナーに並んでいる玉葱、ジャガイモのほとんどは、私たち3班が袋に詰めた野菜達です。

数年前より開始した野菜の袋詰め作業、今日も市場から獲れたての野菜を検品しながら袋に詰める作業が始まります。野菜を載せた車が戻ってくるといさん、Sさんを筆頭に男性陣が1箱10~20kgの段ボール箱をテンポよく運び出します。搬入が終わると女性陣も加わり作業が本格的にスタートします。AさんとFさんは野菜に傷があるものを選別します。Nさんは段ボールから野菜を指定された個数を取り出しカゴに小分けしていきます。Nさんがカゴに分けた物をTさん、Iさん、Sさんが手早く袋に詰めます。野菜の入った袋の口をテープで止めるのはHさんの役目です。それぞれの利用者さんが役割を果たしながら、多い日には600袋の野菜をその日のうちに納品します。少し慌ただしくなってしまう日もありますが、大津町の食卓を彩る為、日々奮闘しています。

リーダー 森田 康之

4班「ラジオ体操」

学生の頃、体育の時間はラジオ体操をしていたように思います。幼少期から何度もラジオ体操をして育ったせい、今でも音楽が流れると身体が動作を覚えていて全部できます。4班は午後から機能訓練を取り入れています。50メートル以上ある廊下を10往復歩いた後に、口腔体操やリズム体操などをしますが、リズムを取ることが難しい人や高齢になって新しいことに取り組もうとするとハードルが高い人もいて、完璧には覚えられず上手く取り組みません。そんな中での「ラジオ体操」は、利用者さんも馴染みがあり、日頃は、首回しや足上げ、屈伸運動など他の音楽に合わせては出来ないこともラジオ体操だとできる方が多いことを発見してしまったのです！…ということで、日課にラジオ体操を取り入れました。

今までも水戸黄門やサザエさんの曲に合わせての体操も軽快で楽しく取り組めていました。リーダー 池田 彩織

5班「楽しみ」

利用者Aさんは昨年より毎週木曜日に生活介護を利用されておりました。しかし、家から出ることをあまり好まない方で、6月の大雨を機に利用が激減しました。Aさんは集団の中で活動することが苦手で、個別に活動して食事でも個別で食べる状態だったのですが、数少ない利用でもスタッフとやり取りを重ねて、次第に集団の中で作業に取り組み、食事でも活動班の皆と食べることができるようになってきており、これから作業等の活動だけでなくレクリエーションやドライブ等、楽しいことをたくさん重ねていこうとした矢先のことでした。

昨年度は月に一度来れば良いほうでしたが、今年度ひょっこり利用された時にあるスタッフが好きになったようで、それからは殆ど毎週来るようになりました。これまで、Aさんの特性に合わせた支援を心掛け、なるべく利用の回数が増えるように頑張っていた私たちの努力はたった一人のスタッフに負けてしまいました（負けるという言い方は不適切かもしれませんが…）。しかし、毎週好きなスタッフに会うことを楽しみにしているAさんを見ると、私もこのくらい好かれる支援員（人間性）になるよう頑張ろうと思う出来事でした。

主任支援員 佐藤 和也

余暇「コンビニ移動販売」

昨年度末より、新型コロナウイルス感染防止策の一環として、帰宅や買い物、外食など皆さんにとっての楽しみであった活動が、予定から突然消えてしまいました。抱える不安やストレスを少しでも解消できる活動が必要と考え、「移動販売」に辿り着きました。幸いLOWSON（菊陽バイパス店）が快く引き受けてくれました。皆さんには、「明日、LOWSONが来ます」と伝えましたが、今一つ想像がつかない様子でした。当日、軽快な音楽を鳴らし、LOWSONのロゴを身につけた販売車が到着すると、ロゴに反応し、「えっ!!」という表情を浮かべていましたが、パネルが開き、店内同様に陳列された商品を目の当たりにすると、現実を理解できた様子で、嬉しそうに買い物を行っていました。現在、毎週木曜日に活動していますが、楽しみとして定着しており、この日を心待ちにされています。また、緩和後も世の中の流れに合わせて買い物ができるよう、この機会を通してマスク着用、消毒、ソーシャルディスタンスを図るなどの経験を提供しています。感染防止をきっかけに始まった活動ではありますが、皆さんの反応を見ていると、今後も継続して行きたいと思える程の内容です。本当に利用者の皆さんを救って頂き、ありがとうございました。

主任支援員 本田 誠



開園記念祭

御挨拶

「感謝と御礼」

実行委員

小城 崇
中村 圭助
池田 彩織

11月14日に行われました今年の開園記念祭は、今までとは違った開園記念祭となりました。地域の皆さまや保護者の皆さまの参加がなかったこと、開園祭後に利用者の皆さんの帰宅がなかったこと等、何から何まで初めてのことでした。利用者の皆さんも現在のコロナウイルス感染症防止対策の状況で、本当に開園記念祭があるのか、と感じられていたことだと思えます。

今回は施設入所・GH入居利用者の皆さんとスタッフだけの参加でしたので、その分、どのような内容のものだと皆さんに納得してもらえぬのが課題でした。また、例年とは異なる開園記念祭を開催することで、混乱を招いてしまうのではないかとこの思いもありました。

しかしながら当日は、そんな心配をよそに利用者の皆さんは笑顔で参加されていました。模擬店の出店をして頂いた地域企業の皆さま、機材の貸し出し等

を快く引き受けて頂いた関係機関及び企業の皆さまのお力添えもあり、無事に開催することができました。本当にありがとうございました。

来年はコロナウイルスの影響を受けることなく、地域の皆さまと共に笑顔で、楽しく参加して頂ける開園記念祭であることを強く願っております。重ね重ねではあります、ご協力頂きました皆さまには感謝申し上げます。



模擬店

今回の開園記念祭はコロナウイルス感染症対策により、飲食の模擬店は出店数を制限させて頂き、毎年出店頂いている『あじまん』さんにはラーメン、『ぶんごや』さんには唐揚げ、『岡本商店』さんにはプリン、『むすびや えん』さんにはおにぎりを提供していただきました。また、厨房業務を委託している『レオック』さんには、フライドポテトを提供していただきました。利用者の皆さんはスタッフと一緒に模擬店を巡り、美味しそうに食べられています。短い時間の中で提供して頂いた企業の方々には、深く感謝申し上げます。来年もぜひよろしくお願いたします。



三気の里

企画

今回のゲームコーナーは、「魚釣り」と「ボーリングゲーム」を行いました。自治会役員もゲームコーナーを担当し、「魚釣りゲーム」をすることになりました。装飾はどうするか、景品はどうするのか等話を進め、魚は段ボールで作ることに決定しました。「タコ、カニ、イカ、イルカ」様々な、そしてオリジナリティのある魚たちが完成しました。

魚の釣りは2つ、クレーン釣りをするか、紐釣りをするかです。クレーン釣りが大人気でした！利用者皆さん、狙いを定めて一生懸命チャレンジされていました。「面白かったよ」と声を掛けられていた役員Mさんは、嬉しそうにされていました。来年は、コロナも落ち着き、例年通り地域の方とも楽しめるゲームコーナーを開催できたらと願っています。



12月スケジュール

三気の里
 1日(火) 嘱託医来診
 3日(木) 健康診断
 4日(金) 内定式・訪問理容サービス
 6日(木) かくたつ研修
 11日(金) 訪問理容サービス
 12日(土) もちつき大会
 16日(水) 3班レクリエーション

17日(木) 誕生会
 18日(金) 干支づくり
 23日(水) 1班レクリエーション
 25日(金) 訪問理容サービス
 クリスマスランチ
 28日(月) 仕事納め
 BeTREE
 <営業時間>8:00~18:00



betree314

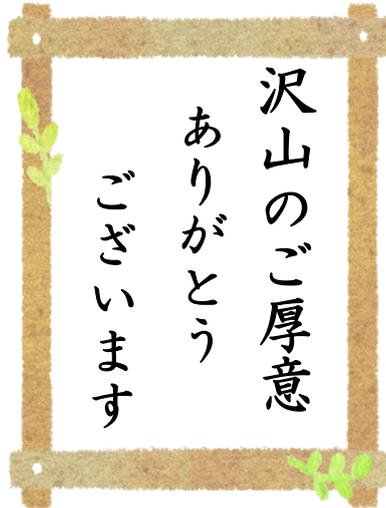
がん検診

支援員 八木 良江

今年も大津町ガン複合検診を73名の利用者の方が受けてきました。検診の先生や看護師さんのご協力により、検診を受けることが出来ました。一人一人に看護師さんが付き添って頂き、優しく声をかけてもらい、スタッフ以外の人でも検診を受けることが出来る姿を見て、スタッフ皆うれしく思います。

胃癌、大腸がん、超音波、女性、子宮がん、乳がんの検診も受けています。年齢によっては、骨粗しょう症、前立腺がんも受けておられる利用者の方もいます。胃癌検診では、バリウムを服用しての検査です。検査後、バリウムが出てしまうまでの排便の確認も怠りません。出てしまうまで、夜間もトイレ時に付き添い確認をしています。今年も、女性検診の先生がとて利用者の方に寄り添って頂

き、利用者の方も安心して検診を受けることが出来ました。受ける姿勢が出来るまで待っていただきたり、本人の動きに合わせて検査してくれたり、皆が子宮がん、乳がんを受けることが出来るようになっていて感謝いたします。上手く検診を受けることが出来ることで、スタッフもそうですが、利用者の方にも余裕が見られるようになっていきます。



【後援会】

道上 進 様
 新田 貴之 様
 甲斐 真史 様
 田中 基幹 様
 千田 英文 様

【寄付】

三気の里家族会様
 千田 英文 様

【物品】

中村 秀隆 様
 上野 育夫 様
 角田 幸 様
 宮本 眞一 様
 高千 穂町 様
 島津 健二 様
 田中 満子 様
 小牧 博典 様
 岡崎 範子 様
 岩切美佐子 様
 松永 広美 様
 魚谷 秀文 様
 金森 保 様
 清田 栄一 様
 ファミリー電器 様
 【ボランティア】
 岩切美佐子 様
 赤星 央子 様

